

令和4年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立 大新小学校
作成日	令和 5年 2月 14日

1 教育目標

豊かな情操とまろやかな英知を育み、たくましく生きる子どもを育てる。

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・県学習到達度調査における正答率について県平均以上を目指す。 ・児童アンケートの「勉強がわかる」の項目で90%以上 ・図書貸出年間平均1人40冊以上	・児童アンケートの「学校が楽しい」の項目で95%以上 ・保護者アンケートの「楽しそうに学校に通っている」の項目で95%以上 ・児童アンケートの「あいさつ」の項目で90%以上	・元気大作戦(生活アンケート)で運動や体を動かす遊びの達成率90%以上 ・睡眠時間の確保(生活アンケート) 達成率90%以上	・保護者アンケートの「学校の様子を、わかりやすく伝えている」の項目で90%以上(随時ホームページ更新) ・地域や公民館などと連携した取組を、各学年1つ以上実施
重点目標に対する意見	・昨年も目標を達成できており、県学習到達度調査における正答率で県平均以上を目指すという目標は挑戦的であり難易度の高い目標設定だと思えます。	・寝ている時間を除けば、学校は、家よりも長い時間過ごすことになります。それぞれが友人と触れ合いながら楽しいと感じることができる場所であれば、心の成長には一番いい場所になると思えます。	・少し前の学校生活と比べると、公園で遊ぶ等、体を使うことが極端に少なくなっており、子供も体の使い方が苦手になっているように感じます。体をうまく使うことはケガの防止にも繋がる為、現代の課題を反映したいいい目標だと思えます。	各家庭や地域の方の協力なしでは、学校運営は成り立たなくなるため、目標設定は的確であると思えます。
取組状況に対する意見	児童が楽しく学習できるように進めてきた取組が、学力向上の結果に表れており、自己肯定感の醸成に繋がっている。図書貸出40冊以上という高い目標に対しても、新刊を用意することで児童の興味を引くことができたのだと思います。これからも学校の取組に期待します。	道徳は心の成長と共に成長が実感できる授業でもあるので、低学年に対しては、特に教え方が難しいと思います。教え方を間違えてしまうと、大人の固定観念を押し付けてしまうことになるので、全校縦割り活動を通して「お互いを支え合い、認めあう」ことができれば、心の成長と共に道徳心も養うことができると思います。少人数学級の強みを活かしたアプローチができています。	コロナ禍での活動を考えると、学校運営で難しい部分が多かったと思います。やりたい活動を制限されている中で、課題を的確にとらえて改善しようとしている学校側の姿勢が、達成率微増という結果に繋がっていると感じます。	大新太鼓は代々続く伝統の活動で、子供たちの成長を一番感じることができます。心に訴える演奏を期待しています。県警音楽隊についても、素晴らしい演奏を学校で聞くことができ貴重な経験になったと思います。先生方が、普段から教育に必要なことを一生懸命に考えてくださっていることが伝わります。これからも子供たちの為に様々な活動を取り入れてもらいたいです。
取組の適切さの検証結果に対する意見	学力テストやアンケートの結果からも、取組内容の効果が実感できる結果となっている。ただ単年での結果では評価が難しいのも事実であり、取組内容を継続させてN数を増やし、効果を確認していただきたい。今回の結果は取組内容と目標が学校全体で共有されている結果だと思うので、これからの成果にも期待します。	学校が楽しいかどうかの質問については、コロナ禍であることも考慮せねばならないので、評価は難しくなっています。しかし、学校側での取組によって良好なアンケート結果が得られており、目標として掲げているような「心根のやさしい子」が育っていると思います。時代により、課題は変わってきますが、代々受け継がれてきた学校の良い文化をこれからも継承していってほしいです。	課題のキャッチアップとそれに対する取組については、素晴らしいと思います。しかし、社会環境により改善を阻害されてしまっているため、これからも取組を継続していただき、効果の確認を実施していただきたい。成長の段階において、睡眠時間は心身ともに重要なファクターになってくるので、家庭からの協力を得ながら、80%の達成率を目指していただきたいです。	写真や個人情報の観点から、伝えられる内容が限られてきており、学校の様子を伝える媒体として機能していないように感じます。学校単位でルール化するのではなく、大きなくりで詳しくルールを設定して、各家庭や地域の皆様に説明することが大切になってくると感じます。先生方や外部講師として指導して下さる方には、感謝しかなく、今後も継続してもらえよう運営をお願いします。
改善年度に向けた意見	取組が成果として表れていますが、学校側で課題として上がっているように、家庭での学習時間を伸ばしていくのは重要だと感じます。宿題など一手ではありませんが、自主学習を阻害する要素にもなりえるので、バランスが難しいです。児童が楽しんで学習できるように工夫について、各家庭に懇談などを通じて事例紹介していただければ良いと思います。	全ての子供が楽しいと感じる現場になるようにこれからもよろしくお願いします。「あいさつ」については家庭から学ぶことも重要だと思うので、懇談などを通して見本を見せて欲しいと伝えるのも大切だと思います。思春期で一時的に挨拶が恥ずかしくなる時期もあると思いますが、「心根のやさしい子」が育てば、将来的には良い方向に自ら進んでくれると信じています。	新Withコロナ→Beyondコロナへと考え方がシフトしていく中で、学校でも対応の変化が求められます。是非スピード感を持って対応してほしい。睡眠時間の確保は、家庭と考え方を共有することが重要になってきます。コロナ禍で家庭からのイベント参加率も制限された影響もあり、従来のレベルに戻すには、これまで以上の努力が必要になります。是非、家庭と協力しながら進めていただきたいです。	学校や先生・地域の皆さんとの距離が近いのが、大新小学校の特徴でしたが、コロナ禍で失われてしまった部分も多いと感じています。特に低学年の家庭は、昔の様子が分からないので、コミュニケーションを図る新しい取組が求められています。地域の方々は学校との関わりが深く、その期待と信頼を裏切らないよう、アイデアと一緒に考えて実行していかなければならないと感じます。

3 その他のご意見

これまで実施していただいた目標と取組に関しては、その時の課題をしっかりと捉えていて成果も出てきています。これからも継続をお願いします。一方コロナ禍以降の運営に関しては、学校の様子がよく分かるような仕組みや取組と一緒に考えていかなければならないと思います。これまで先人たちから受け継がれてきたものを継承していけば良かったのですが、そのやり方も平時であれば問題ないのですが、今回のようなことが起こってしまうと簡単に失われてしまうことが分かりました。人の輪を大切にしながら、その中で培われた経験と取組が次の世代につなげられる新しい仕組・組織の創造が必要だと感じています。是非一緒に取り組んでいきたいです。